

T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ 85号

発行責任者：事務局長 西山 隆 幸

事務局：岡山県倉敷市玉島長尾 167-7 西山方

TEL(070)5673-1524/FAX(03)6862-9869

編集担当者：事務局次長 内 田 毅

主な内容

- 2面 講評～二つの立場から～
合唱講習会に参加して
- 3面 おかあさんコーラス大会特集
あさひ賞受賞団体
- 4面 音楽著作権アラ・カルト (2)
コンサート情報

第66回岡山県合唱フェスティバル開催

ブロック講評を採用・近藤指揮者賞は脇本恵子さんに

去る6月1日、県合唱連盟最大のイベント、岡山県合唱フェスティバルが岡山シンフォニーホールで開催されました。66回を数えるこの大会で新しい試みがなされました。それは今までの二人の講評の先生とは別に、県連内部の指導者に講評をお願いするという事です。5名の先生方に1ブロックずつを担当していただきましたが、息もつかせぬ進行で大変であったろうと推察します。

近藤指揮者賞を受賞された脇本さんとブロック講評者でレセプションに所用で参加されなかった大山さんにコメントをお願いしました。

近藤指揮者賞をいただいて

倉敷コール・クライネ 指揮者 脇本 恵子

思いもよらず、今回素晴らしい賞を頂き、感謝と共に身の引き締まる思いで、感激しています。ありがとうございました。

振り返ってみますと、私が合唱を始めたのは小学3年生。歌を歌ったり、絵を描いたり、詩を書いたり、本を読むことが好きな恥ずかしがり屋なのに、ガールスカウトに入ったり、学級委員で前に立つことの多い不思議な子どもでした。合唱はずっと続けていましたが、中国短期大学フラウエンコールで近藤先生に指導を受けたことを機に、増々、合唱の世界に引き込まれていきました。正に私の人生には無くてはならない芽吹きの時、青春そのものでした。

指揮を始めたのは、フラウエンコールの専攻科。近藤先生の御指導は、定期演奏会の前の1回だけでしたので、先生に穴が開くのではないかとというくらい見稽古させて頂きました。声楽の師匠も近藤先生でしたので、学生時代に基礎を築いて頂いたと感謝しています。そして、学生時代の仲間は、今でもかけがいのない存在です。合唱は決して一人ではできない、指揮者と歌手とピアニストとマネージャーのチームワークのなせる業であることも教えて頂きました。

倉敷コール・クライネとの出会いは、7年前。1980年に田中浩先生が創立され、毎年、定期演奏会を開催している団体です。田中先生を始め、人生の先輩でもある団員の皆様と喜びも苦しみも共にし、一步一步音楽に向かえる幸せを改めて学ばせて頂いています。

学校の先生になりたかった私は、40年後、こんなに様々な形で音楽に関わっていると、夢にも思いませんでした。たくさんの方々からのご指導ご鞭撻があったから続けられたと思いますし、

見守り、支えてくれた家族にも感謝しなければなりません。これからも、日々、目の前の課題を越えていくことで精一杯だと思いますが、出会った方々からいただいたものを、少しでもお返しできたら、若い人達に伝えていけたら、と思っています。そして、たくさんの方々との出会いを楽しみにしています。



近藤指揮者賞の歴代受賞者(敬称略)

	年度	氏名	現在の主な指導合唱団
1	2002年	矢内 淑子	瀬戸内混声/萌え木
2	2003年	大山 敬子	合唱団こぼ
3	2004年	小池 芳弘	山陽女声/西大寺混声
4	2005年	康広美千子	すみれコーラス
5	2006年	大森友美子	コール・ファミユ/Coro・Piacce
6	2007年	森野 啓司	城東高校/J・d u r
7	2008年	大塚 博	夕なぎコーラス
8	2009年	松本 敏雄	コール・ココ
9	2010年	保田 薫	津山市民コール『アンダンテ』
10	2011年	蜂谷 陽子	コーロ グリーチネ
11	2012年	高野 敦	ゆうぶんげん/コロポネコ

今年のブロック講評者の方々

Aブロック	大森友美子
Bブロック	小池 芳弘
Cブロック	大山 敬子
Dブロック	保田 薫
Eブロック	松本 敏雄

講評 ～二つの立場から～

合唱団こぶ 指揮者 大山敬子

フェスティバルの講評を・・・とお話をお受けしたとき考えました。今までにいただいた講評で嬉しかったものは何だったかしらと。すぐに二つの講評用紙を思い出すことができます。どちらも、近藤先生からいただいた講評の中の一つの言葉でした。「心を捉えてしまうような純粋な音でした。・・・」(総社西中)「大変魅力的。さらに向上するためには音楽の交通整理が必要です・・・」(合唱団こぶ)

褒められるって嬉しい。そして課題を与えてくださる。やる気になったそのモチベーションは、1年間の、いえ、ずっと今までの練習の中に息づいています。そんな講評は到底できないのですが、身体中、毛穴(!)まで耳にして聴かせていただきました。次に挙げるのはCブロックを鑑賞しての感想の一部です。

- ピアニストさんの耳が大切。いつも言われることですが。合唱を邪魔しないでしっかりと主張されている素晴らしい合唱団がありました。脱帽です。



- 子ども達と大人で編成されている素敵な合唱団。子ども達だけの声を聴きたかったり、大人の人だけの表現があったりしても美味しい曲になりそうでした。楽譜をできるだけ美味しく演奏する工夫(アレンジ)が練習にも活気をよびます。
- 少人数の初々しい合唱団。心が和みます。少人数だからこそソリストのつもりで歌えるチャンス。それぞれが「10人で歌っている」と思わないで、1人が「10人分歌う」つもりで。
- 指揮者が要の一体感を持った合唱をされたおかあさんコーラス。その求心力に感動しました。
- 若さは妥協しない。高校生、大学生に求めたいのは99%まで音程の正しさ。え～!っていう声が聞こえそう。でも、後の1%は無敵の君の未来なのだから。1%の中身?・・・そう、リズムや音色やフレーズや色や温度や形や言葉や意味や情感や時代や歴史や心や恋や・・・そして祈り。これからする、たくさんの大切な体験がすべて音楽にリンクしていると、思える日がきっと来ます。無限大の1%のために、今妥協してはならない。

すみません。えらそうに書き連ねて。フェスティバルの楽しさ、それは、それぞれにしかない大切な歌が聴けること。

本当にありがとうございました。来年もそれぞれの音楽がシンフォニーに響きますように。

春期合唱講習会に参加して

総社市立総社西中学校コーラス部

顧問 竹 理絵子

本校コーラス部はコンクールをはじめ、合唱フェスティバルや定期演奏会などに向け年間を通して約20曲の合唱曲を練習しています。ジャンルも様々で、クラシックやポップス、昨年度は英語やハンガリー語の作品もステージで演奏しました。

中学生と言えども、あらゆる音楽をステージで演奏するわけですが、作品ごとに奏でる音楽が違いうように、その曲ごとの発声もある程度変えていかなければならず、そこでは必ず発声のあり方が問われることとなります。大人でさえも発声で音色を変えるのが大変だと言われているのに、それを中学生の一つひとつ指導することはとても容易ではありません。

そんな中、以前より気になっていた春期発声講習会の案内が目にとまり、この度、初参加させて頂くことになりました。この時期に開かれる発声講習会は入部したばかりの1年生だけでなく、夏のコンクールに向けて気合いの入った2・3年生にとっても、基本に振り返り自分の発声を見直す良い機会となりました。

河合先生のご指導は一つひとつ丁寧でわかりやすく、指導者としても普段の練習で活用できそう



な内容でとても参考になりました。また、参加団体ごとに声を出させて指導される場面もあり、他の合唱団の発声が少しずつ変わっていく様子を肌で感じ、生徒がその様子を懸命にメモするといった姿も見られました。休憩時間も生徒自ら河合先生に質問をしてご指導を仰ぐなど、この講習会を通して「自分自身の課題と向き合い改善していきたい」という想いがより一層強まったように感じます。

発声指導の大切さを理解しながらも、学校現場では日々の業務に追われ、一つひとつ丁寧に指導することがなかなか出来ずにいます。ですから、こういった講習会は大変ありがたく、とても貴重な経験です。これからもこの様な講習会をたくさん開いて頂き、できる限り参加していきたいと思う講習会でした。

第36回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会開催

あさひ賞に「コール黄薇」「コールあまくさ」

「コーロ グリーチネ」は全国大会出場へ

去る6月30日(日)岡山市民文化ホールで表記大会が開催され、14団体が日頃の練習成果を発表されました。ひまわり賞に5団体が選出され、その中でコーロ グリーチネさんが全国大会に推薦されました。あさひ賞受賞団体にコメントをお願いしました。

うれしい“あさひ賞”

コール黄薇 中川洋子

先日のおかあさんコーラス岡山大会にて5年ぶりにあさひ賞をいただきました。「今までもらった中で一番うれしい!」「これで又あと20年は頑張れる!」「動きや振りを失敗して落ち込んでいたけど、ホッとした。」などなど団員の言葉です。

そして今回は、4年半指導して下さった田中敬子先生の指揮で演奏する最後のステージでした。こんな私達を、へとへとになって貧血が起きるくらい(足がつったこともあった)一生懸命指導して下さいました。時には厳しい声が何度も飛び、時には一緒になって大笑いして練習したことも。今回あさひ賞を頂いて、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

朝日新聞岡山総局・村上局長の、閉会式の時に



話された二字熟語…「優雅」「調和」「迫力」「年輪」「元気」…この中の半分以上はきっとクリア(?)しているであろう、私達。

数年前から、矢内副理事長のお声かけで、「おかあさん大会のあり方」を、おかあさん・女声合唱部門の代表者が、年1回集まり話し合いを重ねてきました。(理事だけの年もありましたが)。参加団体を増やして、もっと気軽に楽しんで参加できる大会に盛り上げよう…。今年1月末には元宝塚歌劇団の瀬川先生の講習会が行われ、私達の団からも5名が受講しました。♪「今年のおかあさん大会は楽しみです。」と小池副理事長。

最近では、禁句にしたいくらい「うちの団は高齢化で…」という言葉。紛れもなく私達の団もその一つです。しかし、私達の団には自慢したいことがあります。結成45周年を経て、当初のメンバーが今でも一緒に歌っています。そして、お互いに話し合っ、お互いに気になるところを直し合っ、練習します。誰ひとり「できないわ…」の言葉は言いません。そして、そんな私達を、ゆったりと、美しいピアノの音色♪と温かな助言で支えて下さる長岡先生がおられます。7月から、仁科喜代蔵先生を指導者にお迎えします。

これからも、美しいハーモニー・やわらかな『おかあさん』のコーラスをめざして頑張ります。

ひまわり・あさひ両賞を受賞して

コールあまくさ 指揮者 山下 典子

梅雨の晴れ間の6月30日、第36回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会が岡山市民文化ホールで開催されました。

結果は、ひまわり賞とあさひ賞のダブル受賞!! 感激の瞬間でした。

私たちコールあまくさの団員構成は20代から80代までと幅広く、また現在55名という大所帯です。そんな私達の合言葉は「世代を超え声と心を合わせて聴く人の心に響く歌を歌う」です。

今大会では、歌はもちろんの事、衣装、6個の鬼面、小判の決めポーズなど、何度も微調整を重ねてきました。“誰かがやってくれる”ではなく、若い人は力を、シニア組は知恵を出し合っ、一人一人が作り上げてきたという満足感で一杯です。

岡山大会の時期は梅雨のさなかで体調管理の難しい季節です。練習に明け暮れた仲間が、当日一人も欠けることなく舞台に立てたことは何よりの喜びです。

今大会での受賞を励みに、来年もさらに飛躍できるよう頑張りたいと思います。

ありがとうございました。



第36回おかあさんコーラス岡山大会成績一覧

演奏順	団体名	成績
1	コール サファイア	大会賞
2	コロポーニョ	ひまわり賞
3	コール総社	大会賞
4	コール・ファミリーユ	ひまわり賞
5	ポリ・ティューン	大会賞
6	夕なぎコーラス	大会賞
7	コール・ココ	ひまわり賞
8	津山女声コーラス水曜会	大会賞
9	コーラスあじさい	大会賞
10	コール黄薇	大会賞
11	コールあまくさ	ひまわり賞
12	せせらぎコーラス	大会賞
13	コーロ グリーチネ	ひまわり賞
14	コールたかはし	大会賞

【投稿】

音楽著作権アラ・カルト

～その2～

森脇英樹

(岡山市民合唱団鷺羽)

(岡山行政書士著作権問題研究会)

(1) 外国曲をDVDに収録する場合

◇最近では、演奏会の模様をDVDに収録して配布されることが多いと思いますが、注意する必要があります。それはDVDに外国曲を利用する場合には、原則として、事前にその外国曲の録音権を管理している日本国内の音楽出版社の同意が必要ということです。

◇また、基本使用料(DVDを製作すること自体の対価)は、その音楽出版社が指定した額(指値)によることになっています。その上でJASRACの管理作品であればJASRACに利用許諾申請手続きをして、指値による使用料(および増製勢使用料)を支払うこととなります。

試しにある外国曲について、指値の額を管理している日本の音楽出版社に照会したところ、非営利のアマチュア合唱団の場合で1曲5万円ということでした。これは最低の相場ということでした。一つのステージで数曲演奏すれば、かなりの負担になりますね。

◇なぜ日本の曲と外国の曲とでこのような違いが出るかと申しますと、外国では、音楽を映像と一体化させて録音する場合には、単に音楽を音だけで録音する場合とは異なり、映像によって音楽の印象が強い影響を受けることがあるため、音楽作品の印象を保持する観点から事前に権利者の同意を得る必要があると考えられているためです。皆様はどのようにお考えでしょうか。

※参考文献

「音楽ビジネスの著作権」(福井健策編、前田哲男・谷口元著 公益社団法人著作権情報センター刊)

「違法ダウンロードの刑事罰化についてのQ&A」(文化庁HPから)

(2) 違法ダウンロードの刑事罰化

◇2012年度の著作権法改正で、違法にアップロードされている音楽や映像を、違法と知りながらダウンロードする行為(違法ダウンロード)に刑事罰が科されることになりました(2012年10月1日から施行されています)。

◇すでに2009年の著作権法改正で、このような行為はたとえ私的使用目的であっても著作権侵害行為とされましたが、刑事罰の規定はありませんでした。そのため、依然として違法ファイルなどの年間ダウンロード数が、正規の有料音楽配信数を大きく上回り、違法な音楽などの流通量が減少せず、音楽産業に大きな被害が生じていました。そこで音楽等の権利者団体・事業者団体からの要望もあり、議員立法で成立したものです。

◇刑事罰の対象となるのは、例えばCDやDVDとして正規に販売されている音楽作品で、権利者に無断でインターネットにアップロードされたものを、その事実を知らずダウンロードしてデジタル方式で録音・録画する行為です。したがって、違法に配信されている音楽や映像を視聴するだけでは刑事罰の対象とはなりません。

◇ただ、刑事罰導入に対しては、①インターネット上での配信が適法なものか違法なものか利用者が判断しにくい場合があること、②個人のインターネット利用が監視の対象となる恐れが考えられることから、むしろインターネット上に違法にアップロードされた配信の削除を強化することを求めるべきであって、インターネット利用の自由を制限するのはおかしい、という根強い反対意見が引き続きあります。

◇いずれにしても、権利者の保護とインターネット利用の自由との調和をどのように図っていくのかきめの細かい議論がこれからも求められます。

CONCERT INFORMATION

岡山混声合唱団
第67回定期演奏会

とき 11月10日(日) 14:00開演
ところ 岡山市立市民文化ホール
曲目 日本の歌、混声合唱組曲「心の指揮」
混声合唱のためのカンタータ「土の歌」
入場料 1,000円(高校生以下無料)
問い合わせ 086-252-0986(原田)

<前号記事の訂正>

中国合唱コンクールの開催日程が間違っていましたので訂正します。

正しくは平成25年9月15日(日)、16日(月)に松江市の島根県民会館で開催されます。

【編集後記】

再開2号目が無事に発行できました。原稿をくださった皆様に感謝いたします。おかあさん大会の写真は朝日新聞社からいただきました。ありがとうございました。著作権の投稿は昨年いただいていたようですがやっと掲載することが出来ました。森脇さんご迷惑をおかけしました。

Tutti 担当者として記事になりそうなことが転がっていないかと探していますが、皆様から自発的に原稿が届くようになれば最高ですね。

これからも事あるごとに関係の方に原稿をお願いしますのでよろしく。

【原稿送付先】

703-8262 岡山市中区福泊168-7 内田 毅

TEL&FAX : (086)276-0003

携帯 : 090-4695-7826

携帯 mail : uchida244z@docomo.ne.jp

PCmail : utida244@yahoo.co.jp